

【個人】

提出 平成30年11月14日

山行報告書

山行報告者：佐野

山域・山名：金城山 (1369m)		(新潟県塩沢町)
入山日：平成30年11月9日 (金) 日帰り		
プラン担当者 正：簗島 副：		
参加者	L：簗島 佐野 佐藤な 女 3名、計 3名	
最終打合せ： 月 日 (火) 雨天中止・順延の連絡： 11月8日 (木) 13時までに (メール) で連絡		
11月9日 (金)	集合時間： 午前 3時 集合場所：簗島事務所 3：00 上尾簗島事務所—圏央道—関越道—六日町IC—5:30 水無滝入登山口 6：10 出発…8：55 五合目…11:20 山頂…11：45 避難小屋…昼食… 12：45 出発…滝入コース分岐…六合目…三合目…18：40 登山口下山	
荒天候時のエスケープルート：		
装備と食糧	共同装備：ツェルト (簗島)、 共同食： 車提供者：佐野 個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食 個人食：行動食	
感想	<p>1300m級の紅葉登山、金城山という山もあまり聞いたこともなく、下調べもよくせずにハイキング的な感覚で準備して参加してしまいました。</p> <p>到着してから急登の連続と聞いてびっくり。登山口から山頂まで本当に急登の連続でした。その分どんどんと高度も上がり景観もよく、魚沼の民家や棚田が広々と見えました。周囲は紅葉真っ盛りで多くの山々に囲まれ、その奥には越後三山の存在感があり、1000m級の山とは思えない高度感がありました。先は急登のみならず、岩場もなかなかで、鎖、ロープの連続でした。山頂に到着し反対側には一昨年登った巻機山が大迫力で登場しました。天候は下り坂でしたが、山頂までの景色は最高でした。避難小屋につき休憩するとさすがに11月、寒く感じましたが、昼食はそれぞれ温かいものを頂きました。</p> <p>水無コースが危険のため下山禁止とされていたため、下山ルートを滝入りコースとしましたが、こちらも急降下の連続で、足場が見えづらい箇所も多くストックは必須でした。鎖、ロープ使用箇所も所々出てきて、ストックを持ちながら降りるのに苦労しました。かなりな急下降で高度を下げるのに早いはずなのですが、なかなか悪路で時間がかかり、結局最後は暗くなりヘッドランプにお世話になりました。</p> <p>自分の足元を見るのが精一杯で、暗闇の中沢を渡る箇所や、木の枝や石の上はかなり滑り、ときには穴が開いていたり必死で歩きました。下方に民家の明かりが見えていてもなかなか近づかず、こんなに暗くなってから歩くのは初めてで不安もありましたが、先頭を明かりで誘導してくださったリーダーがとにかく頼もしく、危険箇所も冷静に、焦らせず、引っ張って下さいました。あの背中を私は一生忘れないと思います。</p> <p>いつの日か、私も強さと知識、経験を兼ね備えたリーダーになれるよう一つ一つ経験を重ねていこうと思いました。今回ピバークも頭をよぎりましたが、準備不足でしたので、どんな山も甘く見ず、何かあったときの備えをいつも背負える体力も必要だと思いました。</p> <p>とてもいい経験になりました。</p>	